



寒空の下でも、乾布まさつを笑顔で張り切る園児たち

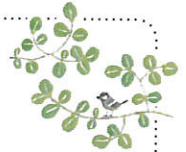


Nursery School  
保育園紹介

## 乾布まさつや食育で 心身ともに健やかに

### 水広保育園

緑区諸の木 3-802



園児数 125人

先生 24人

(うち正規スタッフ  
は23人)

### 毎朝の乾布まさつで 丈夫な体づくり

「水広保育園」は、同じ緑区内にある「滝の水保育園」の姉妹園で、豊かな自然が残る諸の木・大清水エリアにあります。家庭のように居心地のいい場所、心身ともに健全な子どもを育成することを理念としています。

毎朝の「乾布まさつ」が一日のスタートです。副園長の太田先生の声を合図に、上半身ハダカの子どもたちがタオルを片手に園庭に集合。「いち、に、さん」の号令に合わせ手に持ったタオルで腕や背中をさすります。北風の寒さがこたえる季節ですが、子どもたちはいたって元気。実に楽しそうに行っています。

最初は、子どもにとって背中をさす動作が難しいのですが、毎日続け

るとどの子もできるようになります。「続けることで子どもたちが風邪を引きにくくなっています」と太田先生は自信をもって話しています。

### 遊戯室での給食時間 自然と食育の場

子どもたちの大好きな給食の時間には、遊戯室がランチルームに早変わり。幼児以上の各クラスから配膳係が4〜5人出てみんなの席に給食を配



ランチルームでは、4〜5人の班になってテーブルを囲む



食事運ぶ配膳係の子どもたちは、「いただきます」のあいさつ係も

ります。日によって組み合わせは変わりますが、年長と年少といった具合に異年齢の子どもが同じ空間で給食を食べます。年上の子の箸使いを真似したり、遊ぶ空間と食べる空間を分けることで生活の区切りが生まれるなど、ランチルームを設けるメリットは多いそうです。

月に一度、「おこさまランチプレート」や「バイキング」なども実施。給食の楽しさを演出し、残さず食べる習慣をつけ、食べることをもっと好きになってほしい、という思いが込められています。

名古屋民間保育園連盟青年会議所公認

コミュニティ・レター [らう]

# らう

わらう・語らう・交じらう

秋 & 冬

2012

AUTUMN & WINTER

親子と園をつなぐコミュニティマガジン



<http://www.cl-lau.com>



**園 JOY! 訪問**  
エンジョイ・めんほうもん

大好きな保育園で  
ココロもカラダも健やかに！



社会福祉法人 鳴海福祉会 水広保育園

「名前は何処から来たの?」「何しているの?」

水広保育園の園児たちは、とても人懐っこくて元気いっぱい。

初対面の大人にも臆することなく、

興味津々で話しかけてきます。

緑区東部、今なお自然を多く残す静かな環境で

のびのびと保育園ライフを送る112名の子どもたち。

その元気のヒミツは、どんなところにあるのでしょうか。





社会福祉法人 鳴海福祉会  
水広保育園  
園長 近藤 仁



園長先生のお話

集団生活だからこそその「ふれあい」を大切に、  
楽しい生活の場づくりを。

緑区は市内でも待機児童が多く、当園はそんなニーズに応えて2001年に開園しました。当初、周りは林ばかりでしたけど、この10年ほどで家が建ち並び、ずいぶん環境が変わりました。しかし、住宅街となった今でも、近くに林が残っていますし、目の前には公園もあります。また、道が行き止まりになってるので交通量が少なく、とても静かです。

このような恵まれた環境にある園で私が心がけているのは、子どもたちが園に来たいと思える、楽しい生活の場づくりです。集団生活でのルールを守り、集団だからこそそのふれあいを通じ

て仲間を感じてくれたらいいな、と思っています。

この地域の大きな環境がそうさせているのかもしれませんが、当園の子どもたちは、明るくフレンドリーで人見知りやほとんどしない子が多くいます。園外に出た時に心配な面もありますが、人に興味を持ち、人を愛し入れる素直さや明るさは、とてもいいことです。現在の保育のペースを守りながら、子どもたちのこうした良い面を上手に伸ばしていきたいです。



リズム組体操は見応え抜群! さすが年長さん!!



どう? スゴイでしょ! 鉄棒、うんてい、のぼり棒などで自慢の技を見せる4歳児



楽しみながら体力づくり。  
みんながやるから、できるんです。



変化に富んだ園生活は、  
夢中になれる行事がいっぱい。



数ある行事の中でも特にユニークなのは、5歳児がオバケに扮装して年下の子を驚かせる「おぼけ迷路」。他の学年はオバケを二つずつ作って展示します。当日はみんなの作品を見ながら迷路をひと巡り。怖くて保育士さんにしがみついていた子どもゴールに着いて、「褒美のお菓子をもらって得意げな顔に。工作の楽しさとドキドキ体験の両方が楽しめる夏の恒例行事です。また、11月の「ごっこ遊び」も楽しみの一つ。今年は「お祭り」をテーマにおみこしや屋台を作つて遊ぶほか、実際におみこしをかついで町内を練り歩きます。



7月の恒例行事「おぼけ迷路」。年長さんのオバケ姿も板についています。



社会福祉法人 鳴海福祉会  
水広保育園  
名古屋緑区鳴海町字大清水69-1060  
☎052-879-5225



0~2歳児のクラスのある1階は  
ガス温床暖房完備で冬もポカポカ。



さらに「食べる」ことが楽しみになるようにと、5歳児を中心に料理づくりも。5月はクッキー、6月は手巻き寿司、10月はカレー、卒園間近にはホットケーキを作ります。特にカレーは3歳児が玉ネギの皮剥き、4歳児はニンジン型の型抜きをするなど幼児は全員参加。みんな協力して作ったカレーはとびきりのおいしさです。

3~5歳児の給食は1階の遊戯室で。学年を超えたお友達と仲良く食べます。



エプロンをつけて配膳する給食当番は、園児たちに人気のお当番。先生になった気分、はいどうぞ!



2歳児も先生と一緒に楽しく給食。

